

福島第二原子力発電所からのお知らせ **TEPCO**

FUKUSHIMA DAINI NUCLEAR POWER STATION NEWSLETTER

Vol.93

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2024年2月1日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 冬の風物詩 富岡町・楡葉町イルミネーション
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



山田海岸
(楡葉町 天神岬スポーツ公園展望台)
撮影日:2023年12月15日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

防災安全グループでは、福島第二原子力発電所の廃止措置を安全最優先に進めるため、労働安全の確保や、発電所施設における火災防護、自然災害時などの緊急時対応業務を担当しています。

事故や災害の未然防止を図ることはもちろんの事、万が一の場合でも適切に対処できるよう、緊急時の対応力を高めておくことが重要です。

そのため、「作業安全のルール整備」、「防火・消火活動の取り組み」、「緊急時の対応に備えた訓練」などの様々な活動を行っています。

緊急時の対応に備えた訓練では、様々なシチュエーションを想定し、毎月実施しています。また、年に一度、所員だけではなく、本社、福島第一原子力発電所、福島県および立地町などの自治体、原子力規制庁を含めた様々な機関が参加する実践的な訓練も実施しています。



2023年9月1日に行われた防災訓練（免振重要棟内での活動の様子）

安全確保・緊急時対応にチームワークを発揮して取り組む

－業務について教えてください

防災安全グループには、労働安全、火災防護、緊急時対応の3つのチームがあり、私はマネージャーとして、災害ゼロに向けグループ全体の業務に関する優先度設定や進捗管理などを行っています。グループの業務が発電所の安全確保・緊急時対応の向上に直結する大変やりがいのある業務です。

－業務を行う上で心がけていることは

業務にあたっては、緊急時対応力向上のための取り組みが形骸化（けいがいか）しないように、工夫やチャレンジをしていくことが重要と考えています。

そのためには、所員・協力企業の方々からの協力が不可欠なため、タイムリーに所内共有と調整をしていく必要があります。マネージャーが先頭になって「課題や悩みを共有する、アイデアを出し合う、方針を決める」ことで、グループ全体がチームワークを発揮して、スピード感を持って業務にあたり、災害の発生を防止できるように心がけています。

1月1日には、石川県能登地方で大きな地震が発生しております。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、大規模災害に備え、より一層の対応力向上に取り組んでまいります。



安全総括部
防災安全グループマネージャー

おかもと こうすけ
岡本 皇亮（北海道 札幌市出身）

みなさまのご質問におこたえします

Q. 火災に対する訓練は行っているのですか？

A.

当所では、火災が発生した際の初動対応を迅速・確実に行えるよう、自衛消防隊を組織し、日頃より訓練を行っています。

今年度は、11月2日に「迅速な情報共有」や「連携した消火活動」を目的とし、富岡消防署、委託消防隊、自衛消防隊、発電所本部が参加した合同訓練を行いました。

訓練では、体育館から火災が発生したと想定し消防車を使用しての放水や、活動時に体調不良者が発生した際の対応訓練を実施しています。



防火服に着替えている様子



消防車へホースを接続する様子



体育館へ放水している様子



体調不良者発生を模擬し搬送している様子

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

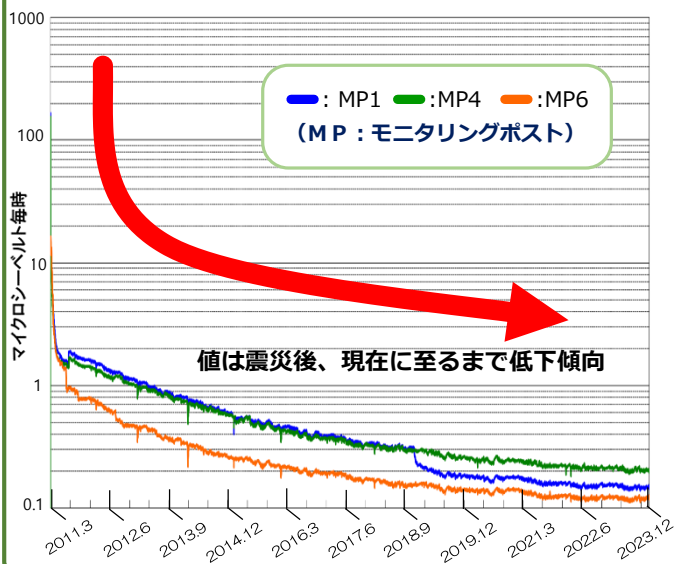
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2024年1月22日 時点

0.07 [MP7] ~ 0.21 [MP3,5]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2023年12月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター) 0.13	楢葉町 (役場) 0.07
広野町 (役場) 0.06	川内村 (役場) 0.06

出典：福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2024年1月22日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ) 0.10	ソウル (韓国) 0.12
上海 (中国) 0.59	ロッテルダム (オランダ) 0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号炉

2,482体

2号炉

2,544体

3号炉

2,516体

4号炉

冬の風物詩 富岡町・楡葉町イルミネーション

富岡町 YONOMORI まち灯り 2023

楡葉町 2023 楡葉町・冬季イルミネーション 天神ドリーム

富岡町「YONOMORI まち灯り 2023」は、夜の森地区の町道約150メートルに連なる桜並木のイルミネーションや旧富岡二中ではペットボトルのクリスマスツリーなどの光のモニュメントが設置されました。

場所:サイクリングターミナル
(2023年12月1日
～2024年1月14日)

2023 楡葉町・冬季イルミネーション「天神ドリーム」は、シンデレラをテーマにしたオブジェが天神岬スポーツ公園のサイクリングターミナル玄関庭園に美しく飾られました。

場所:旧富岡第二中学校
(2023年12月1日～12月25日)

みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにて
お待ちしております。

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,311人※です。(2023年12月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約890人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	352人	1,763人	2,115人 (92%)
県外	43人	153人	196人 (8%)
合計	395人	1,916人	2,311人 (100%)

編集後記

12月下旬、発電所内において県産品販売会が開催され、「常磐もの」を使った加工品や楡葉町の特産品などが販売されました。なかでも、楡葉町産のゆずを使用した新商品「感謝のゆずぼんず・ゆずドレッシング」は、すぐに完売する人気ぶりでした。これからも所員・協力企業の方々とともに、魅力ある福島の食を応援してまいります。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)